

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
家族とジェンダー		BNNBS7L24	10404	4前	2(30)	選択
担当教員	平 英美					
概要	臨床現場で看護師は、患者本人だけでなく患者家族と日々接している。しかし、家族ほど人類社会に普遍的でありながら多様であり、歴史的変容の著しい社会集団も少ない。また、ジェンダー概念が導入されて以降、現代家族の中の母親さらに社会の中の女性に対する見方が大きく変化してきた。授業では、ジェンダー論の視点から、家族や女性の現状とこれからについて考えていく。					
学修目標	1) ジェンダーという概念について説明できる。 2) 家族の多様性を知り、現代家族を相対化することができる。 3) 近代家族の成立と現代の家族が抱えるさまざまな問題について説明できる。 4) 医療に対する家族の関わりについて述べるることができる。					
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	○	全人的人間理解	○	職業倫理と人権擁護	
	探求力と生涯学習能力	◎	ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践	○
回	学修内容			予習・復習内容		
1	ジェンダー概念をめぐって			提出レポート(第5回に提出:イエについて)		
2	性同一性障害から見るジェンダーとセクシュアリティ					
3	家族を定義する					
4	家父長制と日本社会			提出レポート(第7回に提出:母性について)		
5	イエについて					
6	近代家族の成立—恋愛と結婚					
7	近代家族の成立—母性について			提出レポート(第9回に提出:旧民法と新民法の違いについて)		
8	近代家族の成立—父という存在					
9	近代家族の成立—明治民法					
10	近代家族の成立—戦後の少子化政策について			提出レポート(第13回に提出:少子化の是非について)		
11	家族の今とこれから—家族周期					
12	家族の今とこれから—婚活					
13	家族の今とこれから—漂流社会			提出レポート(第15回に提出:パートナーシップについて)		
14	家族の今とこれから—マイノリティとパートナーシップ					
15	まとめ—家族は問題なのか					
使用テキスト						
参考図書						
成績評価基準	講義時提出レポート80%、最終レポート20%					